

# イベント導入 3年で6倍

# リユース食器利用好調

## 富士川NPOの活動後押し



リユース食器を返却する祭りの来場者。利根川・スポーツ広場

富士川町内のイベントで、再使用可能なリユース食器の普及が進んでいる。リユース食器を導入したイベント件数は、2011年度(9件)と比べると、14年度は57件と6倍以上に増えた。リユース食器を無料でイベントに導入できる制度が始まったことなどが要因とみられる。町の広報誌では毎月、リユース食器の利用実績を公表している。

リユース食器はおわんや小皿、コーヒーカップなどがあり、同町の認定NPO法人スペースふう(永井寛子理事長)が町や自治会の祭り、保育園の行事などにレンタルしてい

**峡南**

一真直輝  
坂本小池

(0556)22-5431, 5432  
FAX 22-1797

る。2年前からは、イベント主催者側の負担がない「リユース食器0円プロジェクト」をスタート。食器の1個当たりのレンタル料金26円のうち、48%を町の補助金23%を町内事業所の協賛金で賄い、残る29%を同法人が地域貢献として負担している。

町によると、リユース食器を利用したイベント件数は11年度が9件、12年度が32件、13年度が49件、14年度が57件と年々増加。レンタルされた食器数も11年度の1万8千個に対し、14年度は5万7千個と3倍以上に伸びた。

町は広報誌10月号から、リユース食器を使ったイベント名と食器の貸出数、リユース食器により削減できた二酸化炭素排出量などを、月ごとに一覧にして掲載。町民の取り組みを「見える化」して、さらなる普及を図ることが狙いという。

町民生活課の担当者は「町民が一体となって、ごみの削減に取り組み、『環境のまち富士川町』を目指していきたい」と話している。